

# 南富良野だより

PTA会報  
《第122号》R7. 10. 20  
北海道南富良野  
高等学校  
PTA事務局

## 「上半期を振り返り」

PTA会長 加藤 高史

令和七年度PTA会長を務めさせていただいております加藤高史と申します。どうぞ宜しくお願いします。

保護者の皆様や校長先生をはじめ諸先生方には、南富良野高等学校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また、PTA役員を引き受けて下さった皆様にも心より感謝申し上げます。

さて、四月に二十四名の新生が入学して生徒の数も益々増え、活気づいてきたのではないのでしょうか。一年生は入学してから半年が過ぎ、大分学校生活にも慣れてきたことと思います。

部活動では、カヌー部のインターハイ出場など、各部活動の生徒たちが日々一生懸命取り組み、その成果を大会で十分に発揮しています。

そして、七月四日、五日に開催された一学期最大のイベントである南富良野高等学校祭！今年度も南富良野法人会様から協賛金をいただき、盛大な花火を打ち上げる事が出来ました。先生方やPTA会員の皆様、そして南富良野有志の会の皆様にはお忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございます。学校と地域が一体となる行事ですので今後も大切に継続していければと思います。

五年目に入った学校設定科目の「アウトドア」、「カヌー」や「カーリング」という特色ある部活動、全教室に設置されている電子黒板や生徒全員に無償貸与されているiPadなど道内でもトップクラスのICT環境、南富良野高校でしか味わえない事が魅力的で、道内各地から入学されている生徒も多いことと思いますが、それは、南富良野町と学校が全道各地に訪問をしてPRした結果だと切に感じております。保護者の方々にも、友人、知人に南富良野高校の良さをPRしていただき「南富良野高校に行きたい」と思われる学校を目指して行きたいと思っています。

今後は十一月にPTA研修会「カーリング」を予定しておりますので、皆様方の参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、本校PTA活動により一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。皆様とともに子どもたちの成長を支えていきたいと考えておりますことをお伝えし、挨拶とさせていただきます。



## 「保護者と地域と一緒に歩む 学校を目指して」

校長 澤向 亮賢

日頃より保護者及び地域の皆様には、本校の教育活動に対し御理解、御協力をお願いいたしますことにこの場を借りてお礼申し上げます。

今年度は入学式において二十四名の新生を迎え、全校生徒五十四名で令和七年度をスタートさせることができました。本校に入学していただけた生徒が、年々増加していることはとても喜ばしいことであります。南富良野町の地域体験学習に基づいた学校設定科目「アウトドア」が五年目を迎え、アクティビティを楽しみながら自己有用感やコミュニケーションスキル、アウトプットの向上につながるといふ特色ある教育活動が、生徒や保護者、地域の皆様だけでなく全道でも知られ、マスメディアに取り上げられるようになり、高評価を得られるようになって参りました。

このように本校において学ぶ素晴らしさについて町内だけでなく町外、道内へ知られるようになるとともに、今年度南富良野町には学生寮（緑南寮）を設置していただきました。来年度四月にも新たに増設していただけることが決まり、下宿と併せて町内や富良野沿線外からの受け入れ人数が拡大することが可能になり、札幌、旭川などをはじめとした遠方からの入学者数が増えてきております。そうしたことから本校は、引き続き南富良野町という地域を軸とした学びを継続し、高めながら地域と歩む教育活動を展開して参ります。

特に本校は「地域連携」と「小中高連

携」に重点をおいた教育活動に努めております。「地域連携」では、湖水まつりや道の駅での感謝祭などの地域行事への部活動の参加、富良野警察署と連携した安心安全なまちづくりへの協力、地元企業説明会、本校体育館での中村天平さんのピアノコンサート、地域清掃活動などあらゆる場面を通して地域の方と高校生が関わる機会を増やしています。地域の中で高校生が育ち、高校生が地域に関わることで地域に貢献していく関係を今後とも目指して参ります。部活動においてもカヌーやカーリングを中心に南富良野町の暖かいご声援を得て、様々な場面で南富良野町をアピールしていきたいと考えております。「小中高連携」では、小中高連携教育推進協議会における「学力向上講習」への参加、次世代育成プロジェクトにおける「旧北落合小学校」の校舎活用に関する町長への報告、地歴公民科の授業での中高の租税教室、かなやま湖畔を舞台にした中高での英語の合同授業などに取り組んで参りました。今後も町内における最高学府として連携を深めて参ります。

最後に、こういった特色ある教育活動ができるのも本校は町立高校であり、南富良野町の地域の皆様方の御理解と御支援を日頃からいただき、保護者の皆様の学校教育への御協力と御理解の賜であると感じております。今後も本校教職員一同、保護者や地域の方とともに生徒を育てて参りますので、変わらぬ御支援をお願いいたします。

最後になりますが、保護者及び地域の皆様には、引き続き本校の教育活動に對しまして、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 学校祭

## 「初めての学校祭」

一年 檜本 乃音



高校生活が始まってから約三ヶ月、学校祭が開催されました。準備期間は、私は射的の内容と廊下の装飾を担当していました。射的の看板を作ったり、折り紙の飾りやポスターを作ったりしました。私の得意なイラストを描くことと色塗りをすることを活かすことができて良かったです。先輩や友達と協力しながら着々と仕事をこなして、仲を深めることができました。また、装飾のために風船を膨らませなければいけなかったのですが、その時に初めて口で風船を膨らますことができたのも思い出の一つです。縁日では、お化け屋敷が一番印象に残っています。私は元々ホラー系のものが好きなので、どんな感じなんだろうとすごく楽しみにしていました。いざ行ってみると、まず受付で雰囲気づくりのために設定の説明をするというのも面白かったのですが、お化け屋敷の中もよくできていてすごく楽しむことができました。そして、お化け屋敷のために列に並んでいたとき、体験中の生徒の叫び声や怖く思わせるための物音が、電車の音に聞こえたことも面白かったです！

他にも有志発表やPTAバザー、花火などのイベントもありましたが、全部楽しかったです！初めての学校祭で最初は不安で

したが、想像していたよりも楽しくて、不安な気持ちがなくなるくらい最高の思い出になりました。来年も楽しみたいです！

## 「色々あったけど楽しかった」

二年 佐藤 和音

今年の学校祭は、去年とは異なり生徒会役員として運営する側での参加でした。四月頃から本格的に準備を始め、生徒会内で意見が合わず対立してしまうこともありましたが、その度話し合いや行動の大切さを学び、準備を進めることができました。準備期間で一番大変だったのは動画制作でした。去年のグループで活動したときよりも制作する時間も本数も多く、内容や撮影、編集にとっても苦労したことを覚えています。

学校祭一日目、生徒会企画では自分がミスをしてしまったり、うまく進行が進まないことがあったりとネガティブな気持ちになっっていました。終わった後「楽しかった」という声を聞いて、とても安心し、運営する楽しさを知ることができた気がします。学校祭二日目では、たくさんの方が南富良野高校に来てくれました。縁日では自分が想像していた以上の盛り上がりで、たくさんの方が笑顔でいてくれたのが嬉しかったです。パフォーマンスでもトラブルがありました。有志発表でも出場する人と観覧する人の両方が楽しめているように、とても満足しました。

初めての生徒会、



簡単に上手くいくことはなく準備中は大変な思いをしていましたが、色々な人が手を差し伸べ協力してくれたおかげで楽しい学校祭にすることができました。

## 「完全燃焼」

三年 大山 空輝

今年の学校祭での思い出は、有志発表です。題目の完全燃焼というのには有志発表でのバンドにかけた想いでした。

私は二年次にも有志発表に出ましたが、その時からバンドを組みたいと思っていました。しかし、それは叶わないと勝手に決めてしま



した。しかし、三年生になり新しく来た岡先生が趣味でドラムをしていると聞き、バンドを組めることになったのです。まずメンバーを集めました。みんな快く引き受けられてメンバーを集めることができ、合わせた練習を始めました。初め不安はありましたが、そこまで心配はしておらず結構揃って嬉しかったです。なにより、生のドラムは音が大きく、ギターを未だかつて出したことのない音量で弾き興奮が止まりませんでした。それから集まれる日があれば練習をしました。

あつという間に当日になり、順番は大トリで、私はそれまで体育館の端でギリギリまで練習していました。この時、緊張と不安はありましたが、かましてやるという気持ちでいっぱいでした。そして気づいたら前の組が終わわり、自分たちの番になりました。幕が閉まり、壇上に上がり準備を始めた途端、先ほどの威勢はなく、幕の向こう

で誰かの声が聞こえていましたが、緊張がピークに達しており、それどころではありませんでした。そしてついに幕が開き、演奏が始まりました。演奏が始まると、ものすごい合いの手が聞こえてきたことが印象に残っています。それにより一気に緊張がほぐれ気づいたら演奏に熱中していました。結果、とても盛り上がったしとても楽しかったです。高校生活最後の学校祭ということと憧れのバンドを組むことができ、とてもいい思い出になりました。

## 「PTAバザーに参加して」

PTA監事（三年保護者）三浦 潤

この度、PTAバザー開催にあたり協力いただきました先生方、保護者の皆様、南富良野有志の皆様、多くの来場者の皆様に心より感謝申し上げます。

息子が入学して、あつという間に三年が経とうとしています。私もバザーに参加して三年目ということで、余裕をもって準備・調理・販売ができたと思います。当日は大変な賑わいを見せ、生徒や地域の皆様、そしてそこに買い物をしている姿を見ると、準備した側として大変嬉しく、充実感を得られました。今回も木村先生を中心に、人員配置や仕事をスムーズに行うことができて、親同士の連携もとれていました。そのおかげで合間に子どもたちの出し物を見ることができ、バザーも楽しみながら参加できてよかったです。このバザーの収益が、子どもたちの活動や学校生活の充実に活用されることを楽しみにしています。毎年恒例の花火も先生方、地域の方々のおかげで盛大に行われ、子どもたちの喜ぶ姿、頑張る姿を見ながら私たちも楽しめたことに感謝しております。皆様のご協力のおかげで無事にバザーを開催でき、貴重な機会を得られました。本当にありがとうございました。



## 「学校祭りと馬鈴薯収穫」

西脇農園代表 西脇 和幸

七月四日、五日に第五十九回南富良野高校学校祭が行われ、今年もバザーのお手伝いをさせていただきました。昨年からは南富良野有志の会も参加し、PTAの皆様と一緒に多くの参加者で行うことができました。焼き鳥、焼きそば、鹿肉ジンギスカン、かき氷と例年と同じメニューでしたが、昨年とほぼ同じメンバーのため、素早く仕事をすることができました。僕はいつも焼きそば担当で、暑い日差し、熱い鉄板と格闘しました。全員で一生涯懸命作ったので、生徒も喜んでくれたことと思います。今年で四年目の参加になりました。地域の先輩や仲間と誘われて少しでも地元の高校を盛り上げよう、生徒に楽しんでもらおうというのが始まりでした。ここ数年高校の生徒数が増えています。生徒が南富良野高校に来てよかったと思えるように、また協力できたらと考えています。

八月二十九日には二年生と芋拾い体験を行いました。今年は生徒十六名、校長先生含め教員三名が参加し四十分ほどの短い時間でしたが、皆が楽しみなが何度も収穫かごに集めていました。最後は拾ってくれたお礼に、一人ずつ収穫した芋を持たせます。生徒の喜ぶ顔がいいですね。終了後は今年から赴任された校長先生から、教師を何十年も続けているがこのような農業体験は初めてだと、とても感謝されました。また来年もやらないと駄目ですね。十一月には、生徒が収穫した馬鈴薯がどの

ように選果されて流通していくのかを専門の職員の案内で種子馬鈴薯選果場を見学し、ポテトチップスの制作工程をシレラ工場で予定しています。毎年味付けがされているものと、されていないものの試食が盛り上がりです。私ができることは、農業体験や農業施設見学を通して地域の産業を理解し、興味を持ってもらうことです。将来南富良野に住んでみたいと思ってくれる生徒が少しでも多く増えるように、これからも協力させていただきます。



## 野外宿泊研修

一年 平岡 楓稀

僕が経験した野外宿泊研修を自分なりにまとめてみました。

七月十六日にバスで行くことになり、最初向かった所はかなやま湖のキャンプ場です。事前に決めた三、四人のグループでまとまりテントを立てました。てこずる人も何人か見られましたが、自分はある程度慣れていたため、立てることに成功！建て終わるとそこから休む暇もなくダム見学へ行きました。十五分くらいでダムの施設に着き、施設の手前に蛇の

卵がありました!!蛇の卵がこの日で一番感動しました。無事に施設に着きダムの専門家らしき人にダムについての話をしてもらいました。なんと金山ダムは一九六七年昭和四十二年の十月に本格的に行われたそうで、そこから約一年で完成したとのこと、そんなに大きなダムを一年ほどで終わらせるという根性が本当にすごいなと思います。ちなみに金山ダムは他のダムとは違います。それはダムの中です。他のダムは中がちょっとした空洞、もしくは空洞はなく全て埋まっている状態ですが、一方で金山ダムは中が大きな三角形の空洞であり、理由を聞くとコンクリートの量コストが減るため、最低限のコンクリートになるようにこのような設計にしたそうです。不思議ですね。

ダム見学が終わり昼飯のおにぎりを食べて回復した後、空知川へフィッシングに行きました。現地に着き胴長を着て皆で川へ釣りに、僕はMy Rodを持ってルアー釣りをしました。釣りをしたものの釣果は二匹というあまり釣れない結果となりました。友達も餌釣りをしていました。釣れていた人もいれば全く釣れていない人もいました。中には釣りを諦め水切りをしている人もいました。でもそれでいいんです。釣れる時も釣れない時もあるから釣りは面白いと思います。釣れた日は嬉しいし、何より達成感があっていいと思います。釣れない日はつまらない?そんな事はありません、釣れない日があるからこそ反省・改善がありますし、どうしたら釣れるのか、トラウトたちが興味を示すようなアクションや釣り方をどう工夫すべきなのか、このように深く自分の釣りの腕を探ることが出来るのです!とっても面白いですよね!

時間はあつという間に五時です。荷物を片付け終わると夕食を作りました、焼肉です。とても美味しく腹いっぱい食べました。食べ終わって近くの温泉に行きました、本当にいい湯でした。湯から上がり就寝となり、一日が終わりました。七時に起床してラジオ体操をして朝食を食べました。そこから自由時間、片付けがあつという間に終わり昼に福楽のチャーハンを食べました。元氣いっぱいの状態です。この野外学校に行きました。防水の服に着替え、バスに乗りある川に行きました。救助活動です。二人でペアを作り二人のうち一人が川に流されてもう一人が縄を投げるといふ体験をしました、とても面白かったです。救助活動が終わり、無事野外宿泊研修が終わりました。とっても楽しかったです!来年の一年生に楽しんでもらいたいと思います。





## 令和七年度全国高等学校総合体育大会

### 「インターハイの思い出」

二年 村田 希野

私はこの夏、島根県で行われたインターハイにWK-2（女子カヤックペア）で出場しました。準決勝敗退という結果でしたが、私にとって忘れられない経験になりました。

全国の選手と同じ水面に並ぶ緊張感、これまで経験したどんな大会とも違うものに、鼓動が高鳴ったことを今でも覚えています。いつも通りでいようとすればするほど気はやって空回り、自分の未熟さを強く感じました。最後まで漕ぎ続け、ゴールした瞬間の達成感と悔しさは、夢に見るほど強く残っています。レースはたった数分、数十秒ですが、その一本に掛ける全国の選手の集中力や技術を間近に見て、自分に足りないもの、強みとなるものが分かりました。課題が明確になったことは大きな収穫となりました。

日々支えてくださる家族や顧問の先生、町の支援だけでなく、インターハイを運営してくださったスタッフの方々がいて、ここまで来られたのだと強く感じました。たくさんの方への感謝を忘れず、練習を重ねていきます。



場はゴールではなく、新たな挑戦の始まりだと思いました。この経験を胸に、次の国民スポーツ大会ではより成長した姿を見せられるよう頑張ります。



### インターンシップ

#### 「インターンシップで学んだ事」

二年 佐藤 茉莉

八月中旬インターンシップが行われ、私は南富フーズにて二日間の職業体験をさせていただきました。昨年の職場見学で南富フーズに伺った際に鹿肉の解体作業の見学をさせていただき、衛生管理や食肉としての出荷されるまでの工程などをもっと知りたいと思い、今回の研修を希望しました。南富フーズでは主に鹿肉の解体、販売を行っており、研修では解体から袋詰めまでの工程を体験させていただきました。解体作業では予め血抜きされた鹿を骨ごと電動ノコギリで真っ二つにし、部位ごとに丁寧に切り分けました。私も実際に電動ノコギリ

リを持たせていただきましたが、両手で支えて持つのも振動と重さでなかなか真っ直ぐに切ることができませんでした。それに對し、従業員の方は片手だけで綺麗に切り分けており、その技術の高さを感じました。袋詰め作業では、金属探知機を使って弾丸が残っていないか確認し、鹿の毛やゴミがついていないか一つ一つ目視で確認し、丁寧に梱包していただきました。

普段はなかなか触れることのできない貴重な現場で「命をいただく」ということの重みと、食の安全を守る責任の大きさについて学ぶことができました。私は将来料理人を目指しており、この貴重な経験や学びを今後の夢へ活かしていきたいです。



### 「南富良野高等学校応援団」を募集しています！

南富良野高等学校は、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開することによって、進学・就職・部活動など生徒の自己実現に寄与することができる学校づくりを進めています。

是非、賛同してくださる皆様に学校の応援団となつていただき、本校の教育活動等を更に発展させていきたいと考えておりますので、応援団への登録をお願いいたします。

※本応援団は組織化をしようとするものではありません。また、会費等を徴収するものではありません。

#### 応援団の登録

左記URLまたはQRコードを読み取り、登録フォームよりご登録ください。ご登録いただいた個人情報等は、本応援団活動のみに使用致します。

URL : <https://x.gd/AD4w8>

QRコード

